

15,000 本超のアーティフィシャルフラワーで春を彩る“花と魔法の祭典” 「HIBIYA BLOSSOM 2026」開催

期間：2026 年 3 月 3 日(火)～4 月 4 日(土)

映画『ウィキッド 永遠の約束』とコラボレーションしたフラワードームに
映画の世界を表現したチューリップ畑や
来場者をオズへ導く「黄色いレンガの道」が初登場！

2026年3月3日（火）より、東京ミッドタウン日比谷（千代田区有楽町、事業者：三井不動産株式会社）は、春の訪れを華やかに祝うイベント「HIBIYA BLOSSOM 2026」を開催いたします。本イベントは、“アート＆フラワー”をテーマに日比谷の街を彩る春の恒例企画で、今年で8回目の開催となります。

昨年、多くの来場者から好評を博した映画『ウィキッド ふたりの魔女』とのコラボレーションに続き、今年は続編となる『ウィキッド 永遠の約束』（3月6日公開）とのコラボレーションが実現。15,000本を超えるアーティフィシャルフラワーで構成されるフラワードームや映画の世界をモチーフにしたチューリップ畑の大階段装飾に加え、来場者をオズの物語へと導く「黄色いレンガの道」など新たなスポットが登場。昨年以上に深く、魔法の世界へ没入できる空間が広がります。さらに今年は館内にも映画の世界をモチーフにしたフォトスポットを設置します。

また、日比谷仲通りに展開される「Botanical Street」では街灯やベンチなど一帯をフラワーアートで装飾するなど、日比谷の街全体がウィキッドの魔法に包まれるような体験をお楽しみいただけます。

なお、三井不動産グループの4施設（東京ミッドタウン、東京ミッドタウン日比谷、東京ミッドタウン八重洲、日本橋エリア）では、花をテーマに、今年も春を彩る個性豊かなイベントを開催いたします。4施設を巡りながら、この季節ならではの華やかなひとときをお楽しみください。



上段：「ウィキッド 永遠の約束 presents Flower Dome(昼)」外観(左)、内観(右)イメージ
下段：「ウィキッド 永遠の約束 presents Flower Dome(夜)」ライトアップ(左)、フォトスポット(右)イメージ

映画『ウィキッド 永遠の約束』
© 2026 Universal Studios. All Rights Reserved.

「HIBIYA BLOSSOM 2026」の注目ポイント

- ✓ 映画『ウィキッド 永遠の約束』の世界を表現したフラワードーム周辺には**黄色いレンガの道**や**チューリップ畑**が広がり、昨年以上の没入感。**夜間はライトアップと劇中歌のBGM**で幻想的な光景に
- ✓ 館内には**グリンドのように“シャボン玉に乗って宙を舞っているような写真が撮れる”フォトスポット**を設置
- ✓ 日比谷仲通りは**街灯やベンチを花で彩り**、日常をフォトジェニックに演出する「Botanical Street」に
- ✓ 装飾の花は**サステナブルな花材**（アーティフィシャルフラワー）を活用。再生素材も使用し環境配慮を意識

「ウィキッド 永遠の約束 presents Flower Dome」 チューリップ畑と黄色いレンガの道で映画の世界に没入できるフラワードーム

「HIBIYA BLOSSOM 2026」のメインコンテンツとなる「ウィキッド 永遠の約束 presents Flower Dome」は、15,000本を超えるアーティフィシャルフラワーを使用し、映画『ウィキッド 永遠の約束』の世界観をサステナブルな花材で表現した、アーティスティックなフラワードームです。今年は、物語に出てくるチューリップ畑やオズへ続く道「黄色いレンガの道」をイメージした装飾が新たに加わり、より映画の世界への没入感を体験いただけます。

【Point①】新たな装いに進化した空間で非日常体験を

今年のドームは映画『ウィキッド 永遠の約束』をイメージした新たな色彩となって登場。さらに、オズへと続く道「黄色いレンガの道」をイメージした装飾も加わり、ウィキッドの魔法の世界に包まれるような非日常を感じられる空間に。

「フラワードーム（昼）」外観
イメージ



【Point②】大階段はチューリップ畑のフотスポットに変身

ドームに隣接する大階段エリアは、劇中の舞台マンチキンランドのチューリップ畑をイメージ。物語の世界を彷彿とさせるフотスポットとして来場者を魅了します。

階段エリア（昼・夜）
イメージ



【Point③】フラワードーム内部で味わう圧倒的な色彩

ドームの内部も映画の世界観にインスパイアされた色とりどりの花々で構成。アーティフィシャルフラワーならではの鮮やかさと立体感が広がり、どこを切り取っても写真映える圧倒的な色彩の空間で来場者を迎えます。

「フラワードーム」内部
イメージ



【Point④】夜間はライトアップ&劇中歌が流れる特別演出も

16:00 からは、ドームが映えるライトアップを実施。さらに、光の演出と共に映画『ウィキッド 永遠の約束』の劇中歌「フォー・グッド」が 10 分に 1 回流れる特別な演出で、昼とはまた違った印象の幻想的なドームの雰囲気をお楽しみいただけます。

「フラワードーム（夜）」外観
イメージ



名 称：ウィキッド 永遠の約束 presents Flower Dome
期 間：2026 年 3 月 3 日（火）～4 月 4 日（土）11:00～23:00（予定）
特別演出：16:00～23:00（ライトアップあり）
※初回演出 16:00～／最終演出 22:50～ ※10 分に 1 回実施
場 所：東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場／大階段
主 催：東京ミッドタウン日比谷
協 力：一般社団法人日比谷エリアマネジメント
協 賛：映画『ウィキッド 永遠の約束』

■映画『ウィキッド 永遠の約束』

世代を超え愛され続けてきた不朽のミュージカルを映画化。

世界中を感動と興奮で包んだ『ウィキッド ふたりの魔女』の先に待つ、心揺さぶる最終章一。

3月6日(金)全国ロードショー (<https://wicked-movie.jp/>)



映画『ウィキッド 永遠の約束』

© 2026 Universal Studios. All Rights Reserved.

館内でも映画の世界を楽しめる！フォトスポットが登場

東京ミッドタウン日比谷館内にも、映画『ウィキッド 永遠の約束』の世界観を感じられる仕掛けを展開。まるで映画の主人公グリンドのようにシャボン玉に乗って宙に舞っているような写真が撮れるフォトスポットが登場し、映画の世界へと誘います。



フォトスポットイメージ

期 間：2026年3月3日(火)～4月4日(土) 11:00～23:00(予定)
場 所：東京ミッドタウン日比谷 3階
主 催：東京ミッドタウン日比谷
協 賛：映画『ウィキッド 永遠の約束』

日常の風景がアート作品に フラワーアートで彩る日比谷仲通り「Botanical Street」

「HIBIYA BLOSSOM 2026」では、日比谷仲通り一帯をアーティフィシャルフラワーで装飾する「Botanical Street」も展開します。街灯やベンチなど、普段は目立たない日常の風景を花々で包み込み、思わず足を止めたくなるようなフォトジェニックな空間へと生まれ変わります。買い物や散策の途中でも、華やかな“花の道”を楽しめるスポットとして、エリア一帯に春の彩りと非日常をもたらします。



名称：Botanical Street
期間：2026年3月6日(金)～4月中旬頃(予定)
場所：日比谷仲通り
主催：東京ミッドタウン日比谷、一般社団法人日比谷エリアマネジメント



「Botanical Street」昨年の様子

<サステナブルな取り組み>

使用している花々は、サステナブルな取り組みとして、再利用可能なアーティフィシャルフラワー（造花）を採用しています。また、一部のアーティフィシャルフラワーは、再生 PET ボトル、再生プラスチックといったリサイクル素材を原材料に配合した花材を使用することで、環境配慮を意識しています。

【フラワーデザイン担当】

花匠集団 七月花壇 主宰 望月虹太

「花匠集団 七月花壇」を主宰。世界的に有名なフラワーアーティストに師事し、その後独立。2021 年より、ハイブランドの装飾や広告撮影などファッションやラグジュアリー分野で活動。「花匠集団 七月花壇」は、フラワーロスの活動に力を入れており、「捨てられていく植物」のアップサイクルや再生資材を織り交ぜた、生花・造花のハイブリッドデザインを得意としている。



「HIBIYA BLOSSOM 2026」開催概要

名 称 : HIBIYA BLOSSOM 2026

期 間 : 2026 年 3 月 3 日 (火) ~ 4 月 4 日 (土) (予定)

※日比谷仲通りは 4 月中旬頃まで実施予定

場 所 : 東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場／大階段／館内各所、日比谷仲通り

主 催 : 東京ミッドタウン日比谷、一般社団法人日比谷エリアマネジメント

U R L

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/event/7332/>

※イベントの詳細は 2 月下旬頃、特設サイトで順次公開予定。



HIBIYA BLOSSOM 2026
キービジュアル

東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsui-fudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の 2 つに貢献しています。

